

平成29年度 事務事業評価表

17412  
特別会計

事務事業名	経営健全化事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	市立病院事務局	経営戦略室	経営戦略担当	佐藤 則夫

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	人の健康・一人ひとりがいつまでも元気でいられるまち		
	個別目標	いつでも必要な医療が受けられる		
	めざす成果	市立病院が地域の基幹病院としての役割を果たしている		
根拠法令	名 称	地方公営企業法		
		医療法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		有		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
				設定無し

2. 事務事業の概要					
対 象	総事業費 (単位：千円)				
市立病院の経営		28年度（決算額）	29年度（決算額）	30年度（予算額）	
	事業費	50,001	53,351	57,539	
	人件費	36,828	29,476	29,476	
目 的	総事業費	86,829	82,827	87,015	
・医療サービスを継続的に提供します ・病院事業の収支均衡を目指します	30年度事業費（予算額）財源内訳				
		国支出金		0	
手段、手法【実施手法：直営】 ・良質な医療サービスを提供することにより、診療単価を上げて診療収益の増収を図るとともに、費用の削減にも努めていきます。		県支出金		0	
		市債		0	
		その他		57,539	
		一般財源		0	
		合 計		57,539	
3. 活動内容					
活動指標 1 内容説明 損益勘定の収入－支出	名称	単年度の収支（税込み）		単位 千円	
	指標値	予 定	28年度	29年度（当該年度）	30年度
			0	0	0
		実 績	△196,679	△600,001	---
	活動指標 2 内容説明	名称			単位
指標値		予 定	28年度	29年度（当該年度）	30年度
		実 績			---
活動指標 3 内容説明		名称			単位
	指標値	予 定	28年度	29年度（当該年度）	30年度
		実 績			---
	活動指標 4 内容説明	名称			単位
指標値		予 定	28年度	29年度（当該年度）	30年度
		実 績			---
課 題		良質かつ適正な医療サービスを提供すると同時に、累積欠損金を解消していくことです。			

4. 今後の方針等				
今後の方針等	27年度	I：現状のまま継続	28年度	I：現状のまま継続
	29年度	I：現状のまま継続		
大和市立病院経営計画（平成27年度から30年度）に基づき、更なる医療サービスの向上と経営の健全化・安定化のバランスのとれた経営を行っていきます。 【「健康都市 やまと」まち・ひと・しごと創生総合戦略関連事業】				

## 5. 評価結果

市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	27年度	28年度	29年度	A : 市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	公立病院として小児医療等の不採算な分野も担っていかなければならないため、総務省の定める繰出し基準に基づいた一般会計からの負担金が不可欠となっています。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	27年度	28年度	29年度	B : 成果を上げる余地が一部ある。
	A	A	B	大和市立病院経営計画の数値目標を達成するためには、医療サービスの向上だけでなく、更なる患者数の確保と経費の縮減に努めなければなりません。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	27年度	28年度	29年度	B : 経費を節減できる余地が一部ある。
	B	B	B	薬品費等の材料費や、光熱水費等の経費については内容の見直しにより費用を縮減できる余地があります。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	27年度	28年度	29年度	A : 受益・負担は適正である。
	A	A	A	病院事業の収入は国の定める診療報酬に基づいています。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減に向けた取り組み4点について十分に行ったか。
	27年度	28年度	29年度	A : 社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	市民参加：市立病院運営審議会の公募委員には2名の方がいらっしゃいます。 情報提供：市立病院のホームページを積極的に活用し、情報提供に注力しています。 ユニバーサルデザイン：外国語案内表示などを作成しています。 環境負荷軽減：光熱水費や消耗品の使用量低減に努めています。